

泌尿器科

世界の先端的医療を積極的に導入し、「患者さん・社会に役に立つ新規医療を開発し、世界に発信」を目標とし、新規の泌尿器科医療を開発、実践します！



外来診療
QRコード

外来日	月	火	水	木	金
午前	○	○	○	○	○
午後	○	○	○	○	○



得意とする疾患と担当医師

- ➡がんの診断と状態をより正確に評価可能とする MRI-超音波弾性融合ガイド下前立腺生検：生検を行う際の超音波上での前立腺の形態に合わせて、MRIにてがんの疑われる部位を、超音波画像上に重ね合わせて表示させ(MRI-超音波弾性融合)、その部位への穿刺ガイドを行う技術。
- 前立腺がん**
 - ➡ロボット支援腹腔鏡下(ダビンチ)前立腺全摘除
 - ➡ミニマム創内視鏡下前立腺全摘除
 - ➡前立腺全機能温存治療としての小線源部分治療：がん治療と機能温存の両立を目的とした新しい治療法。最新技術で治療が必要な部分を検出し、その部分を選択的に治療します。
 - ➡尿失禁に対する人工括約筋手術(横山 みなと、森山 真吾)
- 膀胱がん**
 - ➡筋層浸潤膀胱がんに対する膀胱部分切除を組み込んだ四者併用膀胱温存療法(TUR+放射線+化学療法+ミニマム創内視鏡下膀胱部分切除)
 - ➡浸潤性膀胱がんに対するミニマム創内視鏡下膀胱全摘除
- 腎がん**
 - ➡腎機能保持を目的とし、腎血流を保ったまま行う低侵襲手術：腎血流非遮断・ミニマム創内視鏡下腎部分切除
- 骨盤臓器脱**
 - ➡腹腔鏡下仙骨固定術(LSC, Laparoscopic Sacrocolpopexy)、TVM手術(Tension-free Vaginal Mesh Surgery)(横山 みなと、森山 真吾)

担当医師/上記共通：医師指定がない治療は下記いずれの医師もベストな対応をいたします。
藤井 清久、松岡 陽、横山 みなと、吉田 宗一郎、田中 一、上原 翔、森山 真吾、福島 啓司、福田 翔平、戸出 真実、内田 裕将



特色・診療内容

泌尿器科臨床の多くで世界トップレベルの医療を提供できる診療体制をとっています。全ての泌尿器がんおよび副腎腫瘍を対象として、世界標準の低侵襲手術であるロボット支援手術、または当科で開発したミニマム創内視鏡下手術を施行しています。浸潤性膀胱がんの膀胱温存、腎がんの無阻血・無縫合腎部分切除、前立腺小線源部分治療を開発し施行しています。膀胱子宮脱には、腹腔鏡下仙骨固定術を行っています。



専門外来

「尿失禁・膀胱子宮脱専門外来」を開発しました。実施施設が比較的少ない、男性重症尿失禁に対する人工尿道括約筋補込術や、膀胱子宮脱(骨盤臓器脱)に対する腹腔鏡下仙骨固定術を提供できます。それ以外にも、女性腹圧性尿失禁に対する中部尿道スリング手術(TVT手術・TOT手術)、膀胱子宮脱(骨盤臓器脱)に対する膈閉鎖術などのメッシュを使わない手術(Nativetissue repair)や経膈メッシュ手術(TVM手術)も実施しています。



初診予約受付(地域連携部)
TEL 03-5803-4655
(平日8:30~16:00)

救急プライオリティコール(救急部)
TEL 03-5803-4900
(365日24時間対応)

受診案内(患者情報部)
TEL 03-5803-4131
(平日8:30~17:00)